

第124回新生ふくしま復興推進本部会議 議事録

- 日時：令和5年4月6日（木）10：10～10：20
- 場所：危機管理センター災害対策本部会議室（北庁舎2階）

【鈴木副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議を開催いたします。
早速、議題「令和6年度政府予算要望」について、企画調整部長。

【企画調整部長】

資料「令和6年度政府予算要望の進め方（案）」をご覧ください。

震災から13年目に入ってもなお、未曾有の複合災害からの復興・再生に向けては、いまだ多くの困難な課題を抱えております。そうした中で令和6年度の財源をしっかりと確保していくことが重要です。今後も長く続く復興に向けた取組を切れ目なく安心感を持って進めるため、引き続き国が前面に立ち責任を持って取り組むとともに、第2期復興・創生期間以降の十分な財源を確保するよう、強く求めていく必要があります。

「取組方針」の基本的な考え方をご覧ください。福島復興・創生に向けて、福島復興再生計画や県総合計画などに掲げる取組の推進に必要な予算を確保するため、各部局が連携し県庁一丸となって取り組んでまいります。

その上で大切になるのが、現場主義を徹底し、復興の現状や県民等のニーズをきめ細かく把握し、時宜を得た要望・折衝を行うこと。関係法令・計画や、国の予算等との整合を図り、その上で国との折衝を行うこと。中長期的対応となる復興施策の必要性について、早期から国へ丁寧かつ粘り強い説明を行うことと考えております。

こうした考え方に基づいて、政府予算要望の視点として、①原子力発電所事故への対応はもとより、②避難地域・浜通りの復興再生、③風評払拭・風化防止対策の強化、④福島イノベーション・コースト構想の推進に加え、⑤ふくしま創生に向けた取組、これらの本県特有の5つの視点とともに、度重なる自然災害や長期化する新型コロナウイルス感染症、原油価格・物価高騰などの社会情勢等も踏まえて、本県の実情や現場の声を踏まえて、遺漏のないよう要望してまいりたいと考えております。

各部局におかれては、こうした考え方や視点に基づき、今夏の政府要望に向けて要望事項に的確に反映していただきますようお願いいたします。

【鈴木副知事】

今の発言に対して、危機管理部。

【危機管理部長】

危機管理部では、廃炉に向けた取組につきましては、今後、燃料デブリの取り出しなど、前例のない困難な作業が控えていることから、安全を最優先に、国が前面に立ち、総力を挙げて取り組むとともに、ALPS処理水の取扱いについては、行動計画に基づいた万全な対策を講じながら最後まで責任を全うするよう求めてまいります。

また、頻発化・激甚化している自然災害への対応につきましては、被災者生活再建支援制度の拡充や災害救助法の救助範囲の拡大など、被災者支援に必要な制度の見直しについて、国に求めてまいります。

【鈴木副知事】

風評・風化戦略担当理事。

【風評・風化戦略担当理事】

風評・風化につきましては、本県への根強い風評と年々進む風化対策に今後とも粘り強く取り組んでいく必要があることから、国内外への正確な情報発信や農林水産業、観光業等に対する予算措置をしっかりと求めてまいります。

【鈴木副知事】

避難地域復興局。

【避難地域復興局長】

避難地域の復興につきましては、避難指示が解除された地域における生活環境整備などの帰還に向けた環境づくりや帰還困難区域における避難指示解除の早期実現を始め、避難者の安定した生活の確保、生活再建の支援、さらには、移住の促進や交流・関係人口の拡大を図るために必要となる予算や施策について、しっかりと国に求めてまいります。

【鈴木副知事】

生活環境部。

【生活環境部長】

環境回復の取組につきましては、帰還困難区域の除染等や、除去土壌等の県外最終処分に向けた取組など、国が責任をもって確実に実施するよう求めてまいります。

また、「ふくしまグリーン復興構想」の実現や、復興と共に進める地球温暖化対策など、環境省との協定に基づく未来志向の環境施策の更なる推進に向けて必要な予算措置などを求めてまいります。

このほか、野生鳥獣対策や地域公共交通の確保等、県民生活の安定・向上を図るための予算措置を求めてまいります。

【鈴木副知事】

保健福祉部。

【保健福祉部長】

被災者の心のケア、健康不安の解消、医療・介護の提供体制の整備など、被災者に寄り添った支援を継続していく必要があるため、十分な財源措置や制度となるよう求めてまいります。

また、双葉地域における中核的病院の整備など復興が進むにつれて新たなニーズも生じることから、必要な予算が確実に措置されるよう、求めてまいります。

加えて、県内の医療・介護人材の確保など、県民の保健医療福祉サービスの充実に必要な予算についても、引き続き求めてまいります。

【鈴木副知事】

商工労働部。

【商工労働部長】

被災12市町村の事業・生業の再生支援や、企業立地補助金の継続を求めてまいります。

また、福島イノベーション・コースト構想の更なる推進のため、福島ロボットテストフィールドの運営や実用化開発、県内企業とのマッチング支援のほか、再生可能エネルギーや医療関連などの、次世代産業の集積・振興を始めとする本県産業の復興に必要な予算の確保を求めてまいります。

【鈴木副知事】

農林水産部。

【農林水産部長】

避難地域等をはじめとする本県農林水産業の復興は、未だ途上にあり、復興のステージに応じた支援の継続や新たな制度の確立等について、国に求めてまいります。

また、風評の払拭に向けて、令和4年度に策定した「農林水産物ブランド力強化推進方針」に基づき高付加価値化や生産力強化に取り組むなど、一日も早い復興を実現するため、必要な予算の確保等にもしっかりと取り組んでまいります。

【鈴木副知事】

土木部。

【土木部長】

インフラの整備についてでございます。避難地域の復興と避難住民の帰還を推進するための「ふくしま復興再生道路」やイノベーション・コースト構想を支援する道路等の整備、河川の流域全体で取り組む「流域治水プロジェクト」やインフラ老朽化対策などの国土強靱化への取組、地方創生のためのインフラ整備等について、必要となる財源の確保や国の支援を要望してまいります。

【鈴木副知事】

警察本部。

【警察本部長】

復興・創生に向けて歩み続ける福島を治安面から力強く支えていくため、令和6年度以降における期限付き増員措置の継続及び被災地域の治安の維持等に必要な予算の確保のほか、警察用航空機の複数配備に向けて、引き続き、要望してまいります。

【鈴木副知事】

教育庁。

【教育長】

F－R E I の設立を好機と捉え、イノベ構想を支える人材育成について、F－R E I との連携も図りながら、初等中等教育段階からシームレスに取り組むことができるよう、必要な予算を求めてまいります。

また、教職員の加配やスクールカウンセラーの配置継続、「福島ならではの教育を推進するための予算をはじめ、第2期復興・創生期間以降も見据えながら、創造的な教育復興のために必要な財源の確保に努めてまいります。

【鈴木副知事】

他にありますか。

無ければ原案のとおり決定といたします。それでは、知事からお願いします。

【内堀知事】

本県は、避難地域の復興・再生、原発の廃炉と汚染水・処理水対策、風評と風化の問題への対応、さらには度重なる自然災害や原油価格・物価高騰など、多くの困難な課題に直面しています。一方、震災・原発事故から12年が経過をし、カウンターパート、交渉相手となる省庁の担当者は、人事異動もあり、こうした福島の現状について、連続して担当されている方は一人もおられない、これが現状であります。

このため、令和6年度の財源確保に向けては、非常に厳しい戦いになるという危機意識を全庁的に共有しながら、政府との交渉を進めていく必要があります。

加えて、福島の復興は、長く困難な戦いとなります。今後も切れ目なく安心感を持って福島の復興を進めるためには、令和6年度の取組に必要な財源はもとより、中長期にわたり十分な財源を確保することが不可欠あります。

第2期復興・創生期間の折り返しとなる今年度、部局長の皆さんにおいては、あらゆる機会を捉え、国に対して本県の実情、そして現場の声をしっかり説明してください。

また、福島の復興と地方創生を加速させるため、部局長間でも情報共有しながら、速やかに関係省庁との協議に着手し、言うべきことは言う、取るべきものは取る、この強い思いで必要な財源の確保に全力で取り組んでください。

【鈴木副知事】

以上で本部会議を終了します。